

大峰山脈の北部を一望する展望台の山

観音峰

かんのんみね

1348m (最高地点) 1380m (三ツ塚)

日帰り

歩行時間 4時間10分
歩行距離 10・0km

技術度



体力度



コース定数 = 20

標高差 = 600m

 853m
 798m
 累積標高差

観音峰は稲村ヶ岳からのびる側脈の枝尾根にある里山だが、かつては一部の登山愛好家しか訪れることのない「隠れ名山」で、大峰山脈北部を一望できる展望台として知られている。



観音峰展望台はスキの高原だ

近鉄吉野線下市口駅から奈良交通バスを観音峰登山口で下車。来た道を蛇トンネル口の観音峰登山口まで戻る。御手洗溪谷にかかる吊橋を渡り、植林帯の登山道を約10分ほど登ると観音の水が現れる。



観音峰の人気の花、ベニバナヤマシャクヤク

るかたわらに南朝の歴史を記したレリーフがあり、「南朝ロマンの小径」と称し、観音峰頂上まで随所に設置されている。道が山腹南面で水平になると、左に展望台があるが、植林の成長で展望は得られない。先へ進むと、鉄小橋がかかる小沢を3つ渡り、山腹を回りこむように登るようになる。住居跡をすぎ、自然林になると観音平に着く。南朝ゆかりの神社跡で、休憩所と石畳の広場がある。

休憩所の横から石段を登って、岩屋の分岐を左へ進む。植林境界の丸太階段道を登れば尾根へ出る。植林帯を抜け、スキの斜面を登ると周囲が開け、観音峰展望台の石柱に着く。大峰山脈北部の峰々がパノラマとなつて展開する。

360度ほいままの眺望を楽しんだら、小道を北へ向かう。スキの原をすぎ、雑木林の急坂を登ると尾根へ出る。自然林の道が植林境界沿いになると、まもなく観音峰に登り着く。残念ながら展望は得られない。

山頂からは、北東に植林境界尾根を進む。小さなアップダウンを繰り返すと三ツ塚に出る。樹間にいくつかり伏を越えて、ロープがつけられた急坂を下る。小鞍部からコブを登り返すと法力峠に下り着く。

峠で左折して大きく山腹を巻いて下れば、五代松鍾乳洞と母公堂分岐に出る。いずれを選んで、稲村ヶ岳登山口を経て、大差なく、洞川温泉バス停へ行ける。

■鉄道・バス

往路 近鉄下市口駅から奈良交通バス1時間2分で観音峰登山口バス停下車。
復路 洞川温泉バス停から奈良交通バス1時間18分で近鉄下市口駅へ。

■マイカー

大阪方面から南阪奈道を橿原市で降り、国道169号を大淀へ。国道370号に入り、下市で左折、千石橋を渡り、国道309号を大天川川合の交差点で左折、新蛇トンネルを通り抜け、観音峰登山口駐車場へ。

■登山道

通年登られている。コブシ、バツコヤナギは4月中旬、ヤマシャクヤクは4月下旬～5月初旬、ベニバナヤマシャクヤクは6月中旬に咲く。スキや紅葉は10月中旬～11月上旬。

■アドバイス

▽みたらい深谷もみじ祭り開催中は道路混雑が予想される。電車やバスの利用がおすすめ。ただし、便数が少ないので事前にダイヤを確認すること。

▽洞川温泉には日帰り温泉の洞川温泉センター(☎0747・64・0800)がある。温泉街の旅館でも日帰り入浴はできる。

▽積雪期は軽アイゼン必携。観音峰から法力峠へ向かう場合、スノーシューを持参すること。冬山経験のあるリーダー同行が望ましい。

■問合せ先

天川村役場企画観光課 ☎0747・63・0321、奈良交通 ☎0742・20・3150

洞川・弥山・南日裏

*コース図は22・23ページを参照。

弥山、八経ヶ岳を眺める



CHECK POINT



観音峰登山口の吊橋を渡ると杉植林帯の階段道を登って南朝歴史レリーフがある観音の水に着く



住居跡の石積を通して鳥居をくぐればひと息入れるによい観音平に着く



観音峰展望台の巨大石柱からは360度の展望、大峰北部の山々が一望できる



展望台から北へ向かい、植林帯から登り返して観音峰へ植林境界を登る



法力峠からは山腹をからみ下る長い道程だ。母公堂分岐まで木の根道もある



狭い尾根の脇に残る古い遭難碑付近の岩塊に立つと、稲村ヶ岳、クロモジ尾がよく見える



観音峰から三ツ塚へは緩やかな植林境界の道だが、三ツ塚からは露岩混じりの尾根を歩く



観音峰の山頂広場はひと息入れるのによいが、残念ながら展望は得られない